



もも・ネクタリン特報

No.9 H24. 9. 21
J A 中野市営農センター
J A 中野市りんご・もも部会

引き続きせん孔細菌病の越冬菌が感染する時期となります。次年度への細菌の越冬密度を低下させるためにも、ボルドー液の散布は必ず実施しましょう。なお、極晩生種は収穫終了後に2回散布してください。

***例年、せん孔細菌病が多発する園地では、必ず散布してください。**

もも

○収穫前や収穫中の作物への飛散に充分注意してください。

◎収穫終了後の散布：2回目 9月下旬（9月24日頃～） *1回目はNo.8（9/7発行）を参照下さい。

散布時期：9月下旬（収穫終了後）

散布時期：	水	100 ^{リットル}
4-12式ボルドー液	生石灰	1200g
	硫酸銅	400g
展着剤		10ml

***せん孔細菌病多発地帯は、展着剤にアビオンEの1000倍を使用する。**

対象病虫害：せん孔細菌病

散布量：10a当り 600^{リットル}

***特に台風前の防除が有効です**

散布日	月	日
散布量		リットル

【注意事項】

①隣接するりんごや除袋されている桃、巨峰等には薬液が絶対に飛散しないようにする。

②4-12式ボルドー液に代えて、icボルドー412の30倍（水100^{リットル}に3.3kg）を使用しても良い。

③収穫後、モモハモグリガの発生が多い場合はアルバリン顆粒水溶剤2000倍（前日、3回）を散布する。

④コスカシバの発生園は、(劇)ラビキラー乳剤200倍（休眠期のみ・2回）を9月中下旬に手散布でていねいに樹体散布する。

ネクタリン

◎収穫終了後の散布：2回目 9月下旬（9月24日頃～） *1回目はNo.8（9/7発行）を参照下さい。

散布時期：9月下旬（収穫終了後）

散布時期：	水	100 ^{リットル}
	icボルドー412	3.3kg

***せん孔細菌病多発地帯は、展着剤・アビオンEの1,000倍を加用する。**

対象病虫害：せん孔細菌病

散布量：10a当り 600^{リットル}

***特に台風前の防除が有効です。**

散布日	月	日
散布量		リットル

【注意事項】

①隣接するりんごや除袋されている桃、巨峰等には薬液が絶対飛散しないよう注意する。

②コスカシバの多発園は、ガットキラー乳剤100倍（休眠期・3回）又はトラサイドA乳剤200倍（休眠期、3回）を9月中下旬に手散布でていねいに樹体散布する。

③収穫後、モモハモグリガの発生が多い場合はアルバリン顆粒水溶剤2000倍（前日、3回）を散布する。

農薬（毒物・劇物）をお買い求めの際は、印鑑をご持参ください。